

【学校教育目標】

自ら学び、考えを深め、広げ、自らの人生を切り拓いていく 子ども

教育の柱（4つのC）

Challenge
挑戦する力

（自らの課題に主体的に向き合う力）

Collaborate
協働する力

（他者と関わり、学び合う力）

Communicate
伝え合う力

（情報を活かし、考えを表現する力）

Create
創造する力

（学びを未来や生活につなぐ力）

めざす子ども像

- 1 何事にも自分から挑戦できる子ども
- 2 互いを認め、仲間と協力・協働できる子ども
- 3 他者の意見に耳を傾け、自分の考えを適切に伝えることができる子ども
- 4 将来に希望をもち、新たな可能性を創造できる子ども

めざす学校像

- 1 子どもたちの挑戦を大切にし、実現を支える学校
- 2 教職員が協働的・創造的に業務を推進し、地域・保護者と共に子どもを育てる学校
- 3 積極的な情報発信を通して、地域・保護者から信頼される学校
- 4 子どもたちの可能性を広げる新たな教育活動を創造し続ける学校

【幼稚部】

- 1 体をよく動かして遊ぶ健康な子ども
- 2 やさしく思いやりのある子ども
- 3 自分の思いを素直に表現できる子ども
- 4 好奇心をもち、よく考える子ども

【小学部】

- 1 健康でたくましい心と体を育む子ども
- 2 素直に互いのよさを認め合う子ども
- 3 自分の思いや考えを分かりやすく伝えられる子ども
- 4 自らの目標を意識し、挑戦し続ける子ども

【中学部】

- 1 何事にも挑戦する強い心と体を育む子ども
- 2 互いを理解し、協力し合える子ども
- 3 自分の意思を伝え、他者と協力・協調できる子ども
- 4 自分の将来に目標をもち、実現に向け努力できる子ども

【寄 宿 舎】

- 1 寄宿舍での経験を通して興味・関心を広げ、様々なことに取り組もうとする子ども
- 2 人と協力しながら、行事や余暇活動に参加、活動しようとする子ども
- 3 人の話を聞き、素直に受け入れ、挨拶や返事、お礼などを相手に伝えられる子ども
- 4 自分でできることを増やし、自信をもって自ら活動しようとする子ども

【令和8年度の重点目標】

視覚障害教育の専門性を活かし、体験や実感を通して、
子ども一人一人の学びを深め・広げる授業づくりを推進する

子どもを真ん中においた連携・支援の推進

